

経営比較分析表

大阪府 泉大津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	95.45	77.51	2,825

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
76,263	14.31	5,329.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
72,493	9.04	8,019.14

グラフ凡例

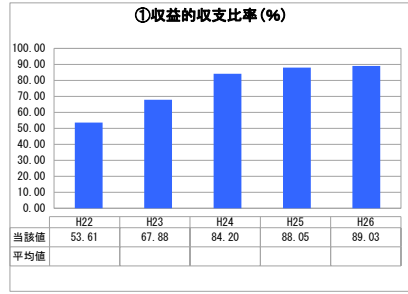
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

分析概

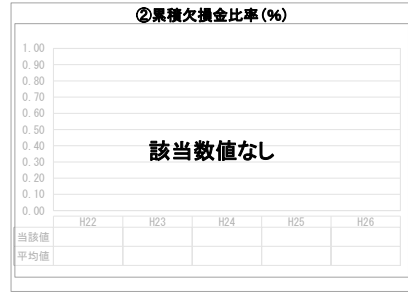
1. 経営の健全性・効率性について

本市は類似団体と比較すると経費回収率については平均値以上の水準です。これは流域下水道への接続により、汚見下水処理場の処理場機能を廃止し、ポンプ場機能のみの施設へ改善したことによる経費削減の効果が表れてきたものと考えます。
 汚水処理原価が平均値より高いのは、流域下水道への維持管理負担金の増加によるものであります。関連自治体での管渠更正等による不明水対策や、本市においても、より効率的な施設運転を検討し、汚水処理費の縮減に努めることが望ましいと考えます。
 施設利用率については、平成24年度をもって、施設の改善事業により処理機能を廃止しました。水洗化率については、整備を急速に進捗させたため、水洗化が追い付かず、平均値よりも若干下回っていますが、平成26年度で普及率95.45%となり、人口密集地の汚水整備は概ね完成し、今後は水洗化率も向上してくるものと考えます。

1. 経営の健全性・効率性



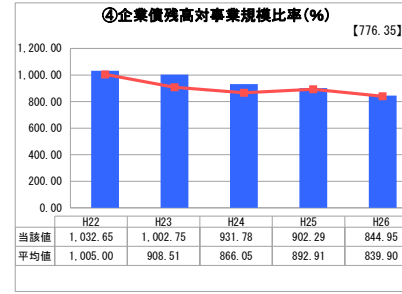
「単年度の収支」



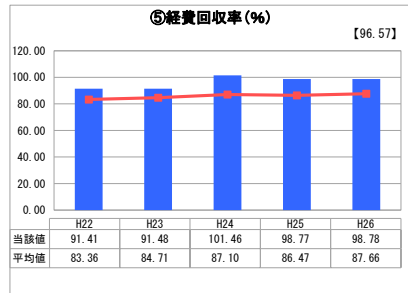
「累積欠損」



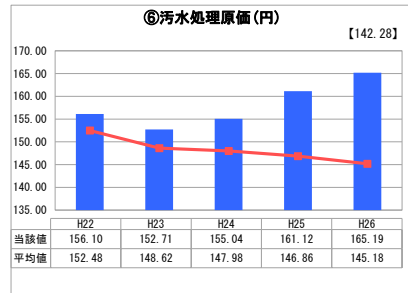
「支払能力」



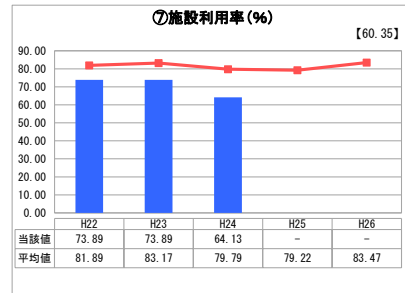
「債務残高」



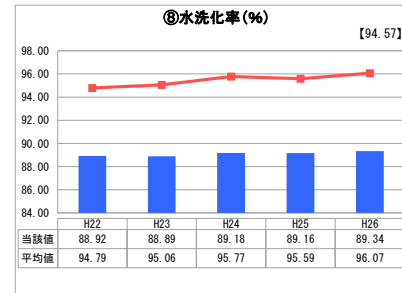
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

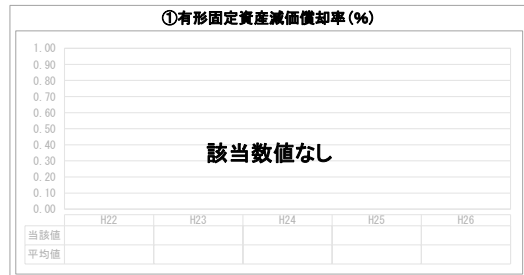


「施設の効率性」

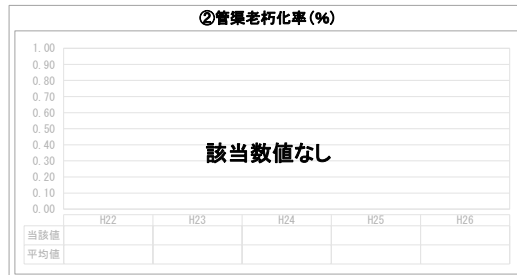


「使用料対象の捕捉」

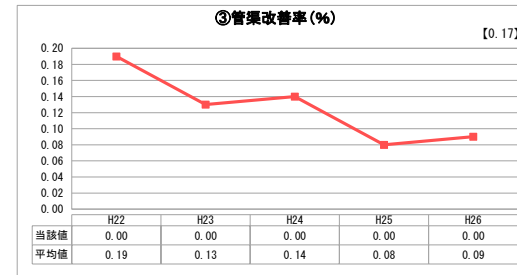
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

2. 老朽化の状況について

①②の指標については該当数値なしのため、未記入とします。
 ③管渠改善率については、本市の施設は昭和48年10月の供用開始後42年を経過しているものの、法定耐用年数50年を超える管渠延長がないため、0.00%となっています。

全体総括

水洗化助成金制度や環境整備資金貸付金制度の拡充について、広報誌や市のホームページでのPRを行うとともに、未水洗化世帯への戸別訪問や文書による水洗化の一層の促進を図り、効率的な施設運転を行うなど経費縮減に努め、経営改善を目指します。
 また、経営の健全性や計画性・透明性を向上させ、長期的に安定した経営を持続していくために、平成32年度からの公営企業法の適用を目指し、現在、企業会計への移行作業に着手しています。こうした取り組みを進め、経営基盤の強化を図っていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。